

○学校施設の耐震化取組状況について

能代市では、耐震化が必要な昭和56年以前に建設された学校施設の耐震化に取り組み、小・中学校においては、すべて耐震補強工事を完了しました。

【小学校】

番号	学校名	新耐震基準※1 (完成年度)	棟名	構造 ※2	階数	面積 (㎡)	優先度調 査ランク※3	耐震診断 (2次診断)	診断結果 Is値 ※4	補強工事 実施年度	備考
1	淳城西小学校		管理・教室棟	RC	3	1,411		H 8	0.16	H 9	
			普通・特別教室棟	RC	3	2,363		H 8	0.51	H10	
			体育館棟	S	1	1,115		H21	0.34	H22	
2	淳城南小学校		管理・教室棟	RC	3	1,900		H21	0.59	H22	耐震性あり
			普通・特別教室棟	RC	3	3,043		H21	0.71		
			体育館棟	S	1	1,188		H21	0.46	H22	
3	第四小学校	○ (H21)									
4	第五小学校	○ (H 7)									
5	向能代小学校		管理・教室棟	RC	3	2,317		H21	0.56	H22	体育館は新耐震基準
			普通・特別教室棟	RC	3	2,331		H21	0.66	H22	
6	朴瀬小学校	○ (S57)									
7	竹生小学校	○ (S57)									
8	崇徳小学校	○ (H 6)									
9	鶴形小学校		管理・教室棟	RC	3	2,305		H21	0.68	H22	
			体育館棟	S	1	616		H21	0.43	H22	
10	浅内小学校	○ (H17)									
11	常盤小学校	○ (H15)									
12	二ツ井小学校	○ (H21)									

【中学校】

番号	学校名	新耐震基準※1 (完成年度)	棟名	構造	階数	面積 (㎡)	優先度 調査ランク	耐震診断 (2次診断)	診断結果 Is値	補強工事 実施年度	備考
1	能代第一中学校		管理・教室棟	RC	4	3,995		H 7	0.61	H 8	耐震性あり
			特別教室棟	RC	4	1,123		H 7	0.58	H 9	
			体育館棟	S	1	1,383		H 7	0.87		
2	能代第二中学校	○ (S61)									
3	能代東中学校	○ (H 1)									
4	東雲中学校	○ (H11)									
5	能代南中学校	○ (S58)									
6	常盤中学校	○ (H15)									
7	二ツ井中学校		教室棟	RC	4	3,657		H19	0.35	H21	
			通路棟	RC	4	898		H19	0.46	H21	
			特別教室棟	RC	1	1,554		H19	0.75	H21	
			体育館棟	S	1	1,351		H19	0.20	H21	

(用語解説)

※1 新耐震基準

昭和56年の建築基準法（施行令）の改正により、現行の新耐震基準が施行されました。新耐震基準の建物は、震度6強程度の地震でも建物が倒壊しない耐震性能となっています。

※2 構造

RC：鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造

※3 耐震化優先度調査

耐震化優先度調査は、耐震診断又は耐力度調査を実施しなければならない学校施設を多く所管している地方公共団体等の設置者が、どの学校施設から耐震診断又は耐力度調査をすべきか、その優先度を検討することを主な目的として実施するものです。

結果は①～⑤の5段階の優先度ランクに判定され、数字が低いほど危険とみなされます。

※4 I s 値

I s 値（構造耐震指標）とは、建物の耐震性能を表す指標で、一般施設ではI s 値0.6以上で耐震性能を満たすとされていますが、文部科学省では、地震時の児童生徒の安全性、被災直後の避難場所としての機能性を考慮し、補強後のI s 値がおおむね0.7を超えることとしています。

● I s 値の目安（平成18年1月25日 国土交通省告示第184号による）

$I s < 0.3$	地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い。
$0.3 \leq I s < 0.6$	地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある。
$0.6 \leq I s$	地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い。